

わたしのお気に入りに入り

小 二

わたしの耳は、生まれつき右と左の形がちがいます。右の耳とくらべて、左の耳はとんがっています。わたしはそれが少しはずかしいと思っていました。小学校に入っではじめて、お友だちに、「どうして耳がとんがっているの。」と聞かれて、わたしは少しこまってしまいました。お家に

帰ってから、そのことをお母さんに言いました。お母さんは、

「いやだった？　はずかしかった？」

とわたしに聞きました。

「みんなの耳はとんがっていないのになんでわたしの耳は形がちがうの。はずかしいよ。」

とわたしが言うと、お母さんが、

「おなかの中にいるときにあん心するポーズでいたから、お耳がそんな形になったんだ

よ。でもぜんぜんへんじや
やないし、テインカーベル
みたいでごくかわいいよ。
お母さんはようせいさん
みたいで大すきだけどな。」

でイヤリングをしたり、おし
やれをしたりして、もつと
かわいくしたいです。

と言いました。わたしは、そ
れがすごくうれしくて、形が
ちがう耳でも、今はとてもお
気に入りです。これから、
お友だちに耳のことを言われ
ても、

「ようせいみたいで、かわい
いでしょ。」

とわらって言おうと思います。
大人になっても、かくさない